

I C A N N 政府諮問委員会 神戸会合＋報告

令和元年5月28日（第54回 I C A N N 報告会）

総務省データ通信課ネットワーク化促進係長

内藤 めい

アウトライン

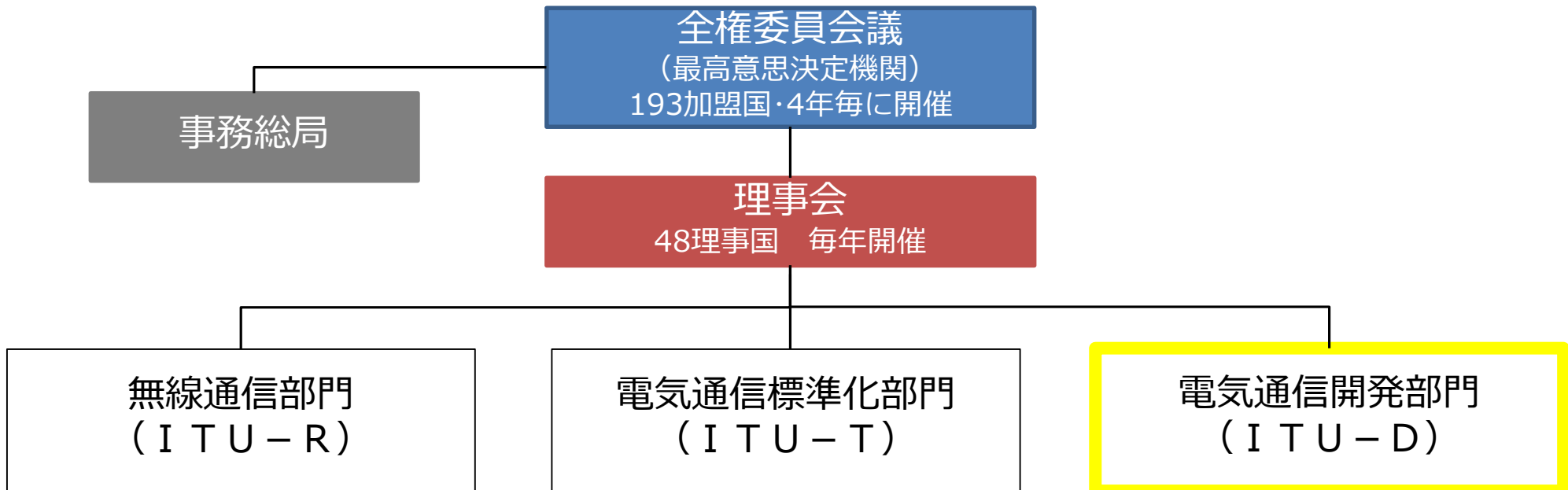
1. 政府諮問委員会（G A C）神戸会合の概要 1
2. 欧州G D P Rとw h o i s 4
3. セカンドレベルにおける2文字の国及び領域コード 5
4. 「.amazon」問題 6
5. 総務省主催「若手人材育成プログラム」 10

1. 開催日：2019年3月9日（土）～3月14日（木）
※2019年の1回目の総会（A会合）
2. 開催地：神戸（日本）
3. 出席者：67か国・地域の政府、6の国際機関等（オブザーバー）
（ICANN # 64全体では、約1,800人以上が参加）
4. 主な議題：
 - （1）欧州一般データ保護規則（GDPR）とwhois
 - （2）セカンドレベルにおける2文字の国及び領域コード
 - （3）その他の議論（「.amazon」問題等）
5. その他
 - ・ ICANNがITU-Dのセクターメンバーに申請（2/28）



↑ ICANN第64回 GAC会合の様子

- 電気通信に関する国際連合の専門機関
(ITU: International Telecommunication Union)
- 主要任務は、①国際的な周波数の分配、②電気通信の標準化、
③途上国に対する電気通信の開発支援
- 本部：スイス・ジュネーブ 193の国が加盟
- 日本は1959年以来、理事国 (48か国) に選出



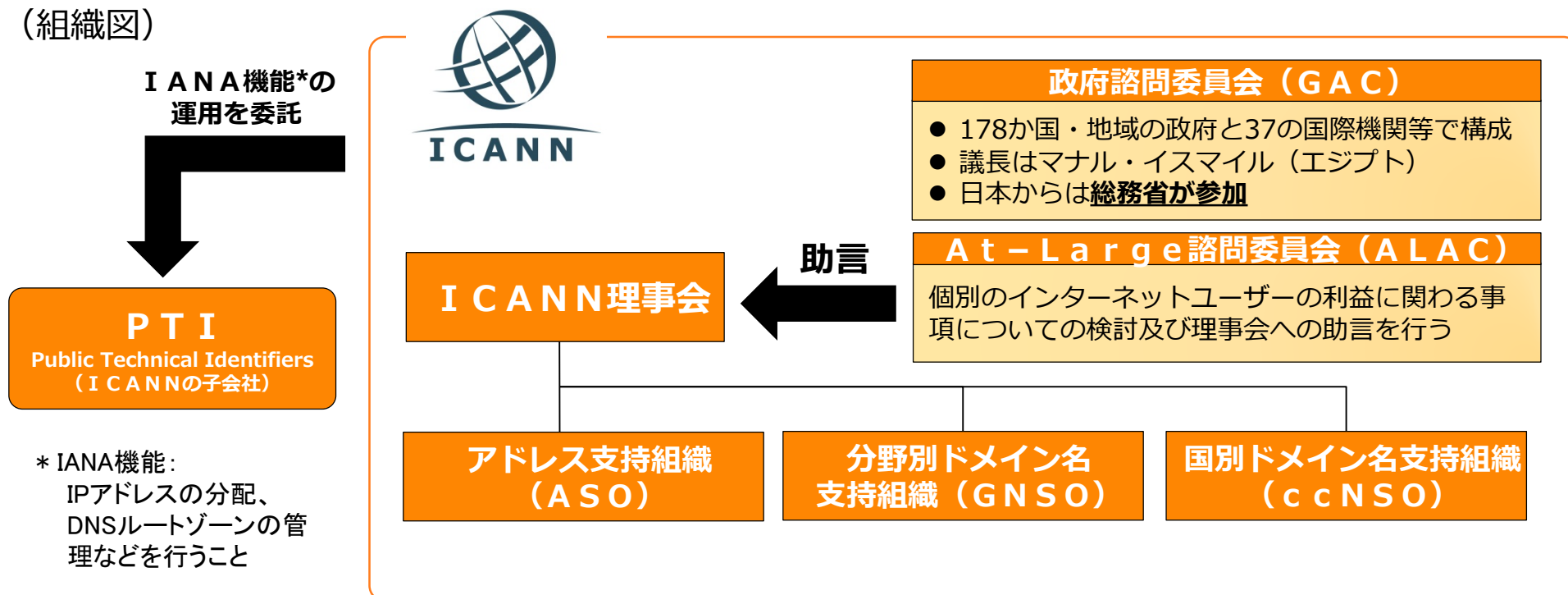
- 技術協力活動を提案、組織化し、調整することにより途上国における電気通信開発を促進

(参考) ICANNの概要

Internet Corporation for Assigned Names and Numbers

- 米国カリフォルニア州法に基づく非営利法人。
- 1998年に設立。本部はロサンゼルス。事務総長兼CEOはヨーラン・マービー（スウェーデン出身）。
- **マルチステークホルダーによる監督の下、インターネットの重要資源の世界的な管理・調整業務を実施。**
- 毎年3回の会合（A会合：6日間、B会合：4日間、C会合：7日間）を開催。
- 総務省は政府諮問委員会のメンバーとして参加。

(組織図)



2. 欧州GDPRとwhois

1. 背景

- ▶ IPアドレスやドメイン名の登録者データベースであるWHOISは、昨年5月のGDPRの施行に伴い、多くのgTLDレジストリでは情報の大部分を非開示とする「暫定仕様」で運用中。
- ▶ しかし各国の法執行機関等から非開示情報へのアクセスを求める声が高まっており、両立できる最終仕様「統一アクセスモデル」を模索している。統一アクセスモデルを利用して非公開部分も含む完全なWHOISデータへアクセスする資格があるのは、正当な権利を持つ適格な利用者グループ群が想定されている。
- ▶ 前回会合では、現在の「暫定仕様」では、非公開データへのアクセスの可否について、各レジストリに判断が委ねられる余地が多く、WHOISシステムの運用が区々になっている等の指摘があった。

2. 神戸会合での主な議論

- ▶引き続き各コミュニティ内での議論が行われた。
- ▶GACでは、前回ICANNで設置されたTechnical Study Groupからの報告があり、非公開情報へのアクセスの方法（案）の技術的な説明があった。
- ▶今後は、統一アクセスモデルおよび各レジストラが従う行動規範の策定に向けて、EDPB（欧州データ保護委員会）との協議の上、作業が進められる予定。

1. 背景

- gTLDレジストリがセカンドレベルに2文字の文字列を使用すること（例：www.jp.example）を希望する場合、国別TLD（例：www.example.jp）との混同を避けるため、レジストリが関係政府に対し60日間の意見募集を行うことをGAC助言とし、ICANNに求めてきた。
- しかし、2016年11月、ICANN理事会は、そのGAC助言に反する形で要件を緩和する決議を行い、政府に30日間の優先登録期間を設けつつも、要件を満たせば全てのレジストリについて登録を可能としてしまった（なお、理事会は今後開放される新gTLDについては、セカンドレベルに2文字コードが登録された場合には関係政府に通知されるページを準備するとしている）。

2. 神戸会合での主な議論

- 会合前に、セカンドレベルにおける2文字コードの検索ツールがGAC内で共有された。
- 検索ツールについては概ねGAC内でも良い試みであるとされ、次回会合にフィードバックすることとされた。
- また、要件の緩和について、理事会から「GAC助言を十分考慮し、履行していた」旨の回答があったことに関し、GACの疑問は解消できていないとの指摘があり、議論を継続していくこととなった。

1. 背景

- 2012年にアマゾンEUが申請を行ったgTLD “.amazon” は、アマゾン地域の政府（アマゾン協力条約機構ACTOの加盟国）の反対により手続きがストップしている。
- 前回（2018年10月）のICANN会合の理事会では、両当事者が共同で “.amazon” を管理する等のスキームの合意により手続きの再開が決議されたとしていたが、会合後、ACTOは「合意は十分ではなかった」として、改めて手続きのストップ維持を求めている。
- また、今次会合までの間に両当事者やICANN幹部らの話し合いの場がセットされるも、ACTO側の都合によりキャンセルされるなどしていた。

2. 神戸会合での主な議論

- GACでは、長らく進展がないことを憂慮する声や、本件はもはやGACマターではないとする声もあったが、ACTO諸国は “.amazon” の使用に介入できることを求めており、関係政府の意向を尊重し慎重な対応を求める声も多く、GACとしては当事者間で十分な協議が必要とコメントするにとどまった。
- 3月10日、ICANN理事会は今回、向こう4週間をタイムリミットと定め、当事者間の直接協議により問題解決を図ることを求める決議を採択した。
- なお、4週間で協議が整わない場合には、2週間後の4月21日に、アマゾンEUから、ACTO諸国の懸念への対応策に関する提案を提出することとされた。

3. 神戸会合後の主な議論（続き）

- 神戸会合後の**4週間以内**に、アマゾンEUとACTO諸国間の協議は整わなかった。
 - アマゾン社によると、ACTO諸国の一部は「.amazon」の共同所有と運用を要求したり、全てのドメイン名の登録に関して、事前通知と拒否権をACTOに与えるよう要求したりしたが、これらはアマゾン社にとって受け入れられる内容ではなかった。

- ICANNの決議どおりそれから2週間以内の、**4月17日**にアマゾンEUから提案が提出された。提案は「Public Interest Commitment (PIC)」と「共同ステアリングコミッティ」から構成されていた。
 - PICの主な内容として、
 - (1) アマゾン地域の文化及び遺産にとって優先度・認知度が高い単語を各「.amazon」TLDのドメイン名に利用しないこと
 - (2) ACTOや加盟国が地域の可視性を高めるために、非商業目的で利用する、各「.amazon」TLDのドメイン名において9つのドメイン名を提供すること
 - (3) アマゾン地域の文化及び遺産にとって優先度・認知度が高い、各「.amazon」TLDのドメイン名のうち1,500までのドメイン名をブロックすること
 - 共同ステアリングコミッティは、ACTO諸国とアマゾンEUとの間でMoUを締結。その上で、最初の予約リストのための単語の提案等を実施予定。

3. 神戸会合後の主な議論

- **5月7日**に、ブラジルがシャラビーICANN理事会議長宛にレターを発出した。
 - 主な内容として、
 - (1) 「.amazon」文字列に関するステアリングコミッティが扱う課題は
限定的かつ定義済みの単語に関する責任のみを有し、アマゾン地域国に特定の事項について
混乱やミスリードを生じないようなドメイン名は対象に含まれないこと、ステアリングコミッティは
アマゾンEUとACTO諸国双方から等しく代表を出すこと、コンセンサスのみにより行動すること
 - (2) ACTO諸国による「.amazon」の共同利用の目的はアマゾン地域の自然や文化的遺産を保護するためであり、
商業的目的の促進のためのプラットフォームとしての機能ではないこと
 - (3) 「ecotourism.amazon」「hotels.amazon」「acai.amazon」やアマゾン地域の町や川、ローカルフードの
名称のような、私企業が運営しているのか、関連諸国が運営しているのか、
公衆に誤解や混乱を与えうるようなドメイン名も保護されるべきであること
- 最終的に、**5月15日**、理事会は以下を主な内容とするICANN決議を採択した。
 - アマゾンEUからの提案はこれまでのGAC助言と矛盾するものではなく、
「.amazon」の申請手続きプロセスを止めるに到る公共政策上の理由はない。
 - 通常手続きとして、アマゾンEUが提出したPublic Interest Commitmentsが30日間のパブコメに付された。

1. 議長（任期2019年3月～2021年3月（2年））

<任期 2 期目>



Manal ISMAIL
(Egypt)

- <現職>
 - ・エジプト国家電気通信規制庁
- <ICANN関連経歴>
 - ・GAC副議長（2009年）
 - ・理事会・GAC勧告の実施グループ（BGRI）議長

※ 議長は連続2期×2年まで
副議長は連続2期×1年まで

2. 副議長（5名）（任期2019年3月～2020年3月（1年））

<任期 1 期目>



Luisa Paez
(Canada)

イノベーション・科学・
経済開発省（ISED）

<任期 1 期目>



Olga Cavalli
(Argentina)

外務省
シニアアドバイザー

<任期 2 期目>



Chérif DIALLO
(Senegal)

郵政通信省ICT
担当課長

<任期 2 期目>



Par Brumark
(Niue)

スウェーデン自由党所属の
スウェーデン人（2010年から
ニウエ政府のアドバイザー）

<任期 2 期目>



Thiago Jardim
(Brasil)

外務省

5. 総務省主催「若手人材育成プログラム」

- ICANNの日本開催という絶好の機会を捉え、国内の大学に通う学生を対象に、インターネットの重要資源の管理について関心を持ってもらうべく、会期中に並行して若手向けの人材育成プログラムを開催した。京都大、慶應大、早稲田大から計4名の参加があった。
- 初日となる9日には、DotAsia Organizationが神戸情報大学院大学にて開催したICANN Jukuに参加してもらい、APNICの講師などからインターネット・ガバナンスやマルチステークホルダーモデルに関する講義を受けた。



ICANN Jukuの様子

若手人材育成プログラム

Saturday 9 March (Kobe Institute of Computing Graduate School of Information Technology) ICANN64 “Juku”

- 09:30 - 10:00 Welcome & Introduction
- 10:00 - 13:00 Names & Numbers: How the Internet Works (Pablo Hinojosa, APNIC/Yannis Li, DotAsia)
- 13:00 - 14:00 Lunch Break
- 14:00 - 15:00 History of Internet Governance & Evolvement of ICANN (Edmon Chung, DotAsia)
- 15:00 - 15:30 Understanding Multi-Stakeholder Participation
- 15:30 - 17:00 ICANN Issues Introduction & Discussions
- 17:00 - 17:30 Wrap-Up & Navigating the ICANN Kobe 64 (Local Host/APAC Hub)
- 17:30 - 18:00 Networking & Group Photo
- 18:30 - 20:00 Fellowship Social Networking Event / Location: Kairaku 1 (Portopia Hotel Main Building B1F)

Sunday 10 March (Kobe Portopia Hotel)

- 10:30 - 15:00 Newcomer Day
- 15:15 - 16:45 DNSSEC for Beginners
- 17:00 - 17:30 Fellow Team Meeting with Mentor (Feedback/Schedule Confirmation)

Monday 11 March (Kobe Portopia Hotel)

- 9:00 - 9:45 **Opening Ceremony**
- 10:30 - 12:00 ALAC/NCUC Outreach Event
- 16:00 - 16:30 Fellow Team Meeting with Mentor (Feedback/Schedule Confirmation)
- 17:00 - 18:30 **Public Forum**
- 19:00 - 21:00 **Gala Night (Offsite: Hotel Okura Kobe 1F Heian)**

- 2日目以降は、ISOCのボランティアやAPRALO (Asia Pacific Regional At-Large Org.)のボランティアメンターからのアドバイスを受けながら、DNSSECの仕組みを学んだほか、各種イベントに参加したり、実際のICANNのパブリックフォーラムに出席したりと、体験重視のプログラムとなっている。
- 最終日には、各自で得たこと感じたことや今後の抱負に関する報告会を行い、データ通信課から講評を行った。
- いずれのプログラムも英語で行われた。
- 参加した4名のうち3名は留学生（出身：インドネシア、中国、アルバニア）であった。

参加者の声

- The fellowship program was definitely an unforgettable experience for me. For the first time, I was able to take part in real-world internet governance affairs, be familiar with the policy-making process, and more importantly, exchange my views on internet governance with those key opinion leaders. What's more, as a student majoring in computer science, I learned a lot about the latest technology trend such as DNSSEC, DoH, and IDN. Those workshops really inspired me to find my next research topic. (Y.G.さん)
- Fellowship program for ICANN helps us understand how the policies created for IP Address and Domain Name. Furthermore, I met many people from the world and growing my networks, and found some interesting research areas. (V.P.さん)

Tuesday 12 March (Kobe Portopia Hotel)

- 8:30 - 10:15 ICANN Wiki Edit-A-Thon
- 11:00 - 13:15 [NextGen Presentations Part 1](#)
- 15:15 - 16:45 [NextGen Presentations Part 2](#)
- 17:00 - 17:30 Fellow Team Meeting with Mentor (Feedback/Schedule Confirmation)
- 18:30 - 20:00 APAC Social and APRALO Networking Event

Wednesday 13 March (Kobe Portopia Hotel)

- (Final Report Preparation/Free Session Participation)
- 17:00 - 17:30 Fellow Team Meeting with Mentor (Feedback/Schedule Confirmation)
- 18:00 - 20:00 Fellow Dinner

Thursday 14 March (Kobe Portopia Hotel)

- 9:00 - 12:00 Fellow Final Report Presentations
- 13:30 - 17:00 [Public Forum](#)
- 19:00 - 20:00 [ICANN64 Community Wrap-Up Cocktail](#)



Fellow Final Report Presentationsの様子

(参考) 参考URL

(1) GAC神戸会合のコミュニケ (成果文書)

<https://gac.icann.org/contentMigrated/icann64-kobe-communicque>

(2) GACバルセロナ会合報告会資料

<https://www.nic.ad.jp/ja/materials/icann-report/20181206-ICANN/icann53-3-naito.pdf>

ご静聴ありがとうございました。